

「さ さ え」

2003.7 発行 情報誌 第4号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所 / 福岡県田川市伊田4395 福岡県立大学生涯福祉研究センタ - 内

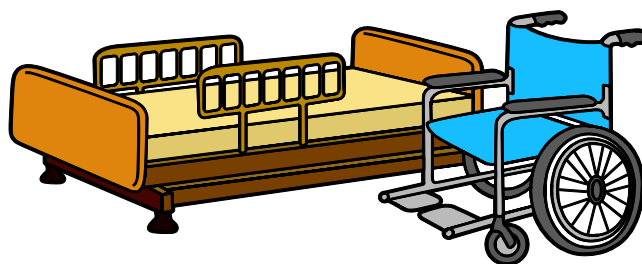
TEL / FAX 0947 - 42 - 2286

E - mail npo-fukusiyougunit@sage.ocn.ne.jp

HP <http://www10.ocn.ne.jp/~npofynet/enter.htm>

福祉用具はあなたの自立をささえます

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします



小さな芽を

すこやかに育てたい

NPO福祉用具ネット

研修会のご報告

6月21日土曜日に、「高齢者・障害者のための住宅改修について」の講演会を開催いたしました。

参加者は**総数103名**でした。在宅サービス事業所・福祉施設・病院・建築業者・工務店・専門学校・大学等から大工さんやホームヘルパー・介護支援専門員・施設職員・福祉用具専門相談員・社会福祉士・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・看護師・市民・学生の方と多くの皆様が出席して下さいました。

介護保険制度における住宅改修では、工事を担当する大工さんと介護支援専門員の連携が不可欠となります。高齢者・障害者の住宅改修についてはまだまだ課題も多く、効果的な住宅改修を行うには、知られていないことも多くあります。

介護支援専門員は建物のことは分からないし、大工さんは利用者の身体機能がわからない。手すりほどの人も同じではありませんし、無いより付けた方がよいとも言えません。身体機能の変化によっては不要となる場合もあるでしょう。介護保険制度を使っただけの住宅改修では当然に介護者の自立支援に繋がらなければなりません。

利用者の身体機能を把握するためには、理学療法士や作業療法士、訪問看護師等との連携は不可欠です。また、住宅の構造を知っている大工さんと連携することにより確実な住宅改修となるでしょう。研修会に参加することにより共通認識の上で仕事ができます。利用者一人一人の身体機能や個々の住環境、また福祉用具との関係や家族との調整なども必要となります。NPO福祉用具ネットでは、これからもさまざまな視点から研修会を企画したいと思います。

この研修会を機会にNPOの会員として入会して下さい方もおられ、**現在会員数は130名を超えました。**

今回の研修会では、「NPO福祉用具ネット」の理事である松尾清美先生には長時間に亘る講演内容でご無理なお願いをいたしました。沢山のスライドを使った講演内容で聴講した方たちからは大変勉強になりましたとの感想をメールでたくさんお受けしました。

次回は、11月に「福祉用具選定セミナー」で再び松尾先生にご登壇していただきます。ご期待下さい。(事務局)



受講のようす



ダブルのスクリーンでスライドが見やすかった。

「高齢者・障害者のための住宅改修について」の講演会参加の事業所について団体会員様として参加された事業所とその人数を紹介致します。

（個人会員・賛助会員として参加された方もたくさんおられましたが所属が分からない方も多くおられましたので今回は省略させていただきます。）

* 社会保険田川病院 様	3 名
* 太陽セランド (株) 様	2 名
* 西日本在宅介護センター 様	10 名
* ホームヘルプ愛 様	6 名
* 九州ホームケアサービス(株) 様 (久留米市)	2 名
* (有) ヤマサキ 様 (北九州市)	1 名

西日本国際福祉機器展 リミテッド より報告

(第37回日本作業療法士学会併設展示会)

6月26日～28日まで西日本総合展示場新館に於いて開催



ナーセントトイレ (株)池田模範堂

立ち上がりやすい (長取っ手)

移乗しやすい (短取っ手)

トイレの蓋の開閉を容易にするように配慮

移動しやすい (キャスター付)

お尻にやさしいソフトクッション

以前よりさらに強固な構造に改良されていました。



極低床ベッド あんしん 吉川機械工業(株)

床まで下がったベッド(12センチから62センチまで) 商品化実現!

(共同開発 福祉用具研究開発センター)



アーチパートナー （据え置き式電動リフト） 明電興産（株）

改良された点はリモコンスイッチになり利用者本人が直接車いすの上まで移動することができます。

（レンタルは取り扱いをしていない事業所もあるためにメーカーに相談が必要）



歩行車 （株）日本メディックス

歩行訓練が不安定でもお尻で転倒防止
よろけても大丈夫です。

商品化準備中

NPO福祉用具ネット主催の展示会（福祉用具フォーラム）は11月29・30日開催予定

福祉用具は、ますます進化しています！

福祉用具が変われば介護方法も変化します。

医療の進歩と同じように在宅介護も変わっています。例えばベッドから車いすへの移乗方法は確実に変化しています。車いすの機能が良くなっているからです。アームレスト(肘掛け)が取れ、フットレスト（脚部）の取り外しができれば、ベッドに、より近付けることになります。1人で車いすやポータブルトイレに移乗ができる人もいるでしょう。また、今年の4月から貸与品目として追加された移乗板（トランスファーボードまたはスライディングボード）を使えば軽い力で移乗することが可能になります。高齢社会に対応するためには、福祉用具によって改善できることは変えていきませんか？

「NPO福祉用具ネット」では、福祉用具の情報を皆さんにいち早く伝え、また新しい福祉用具が使えるようにと研修会を行っています。是非、ご参加下さい。（事務局 大山）

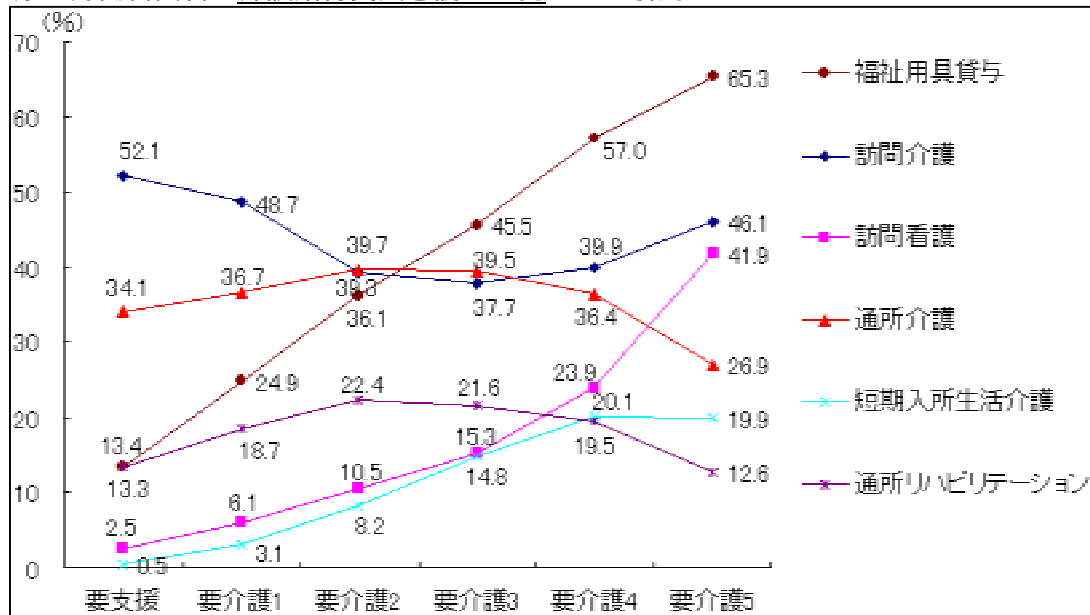
介護保険情報

(居宅サービスの利用状況)

要介護度別にみた居宅サービス受給者総数に対するサービス別割合(受給者数)

平成 15 年 4 月審査分

厚生労働省資料 介護給付費実態調査一覧 より引用



要介護度が高いほど福祉用具のサービス割合が高くなる。

平成 15 年度通常総会開催される

NPO福祉用具ネット 通常総会議事録より (会員の皆様には通知済み)

- 開催日時 平成 15 年 5 月 21 日(金) 18 時 00 分～19 時 10 分
- 開催場所 福岡県立大学 生涯学習資料研究室
- 出席者数 社員総数 95 人のうち 64 人出席(うち表決委任者 43 人)であり
議決に必要な定足数であることを確認した。
- 審議の経過の概要および議決の結果
 - 平成 14 年度事業及び決算報告並びに監査報告承認の件
理事長豊田謙二より平成 14 年度の事業報告・貸借対照表・収支計算書・財産目録の説明を行った。田島 靖監事より監査報告が行われた。全員賛成により事業及び決算報告を承認した。
 - 定款変更案承認の件
理事長豊田謙二より定款変更案(第 5 条・第 13 条・第 23 条・第 32 条・第 45 条)に

ついて提案があり、原案どおりに全会一致で可決された。

- (3) 平成 15・16 年度事業計画(案)及び会計収支予算(案)承認の件
定款の変更に伴う平成 15・16 年度事業計画案並びに会計収支予算案について説明が行われ、原案どおりに全員賛成により承認された。
- (4) 役員(監査)の増員に伴う選任の件
定款変更に伴う役員(監事)の選任に関する審議の結果、小野靖史が選出され全会一致で可決された。
- (5) 介護保険サービスの第 3 者評価事業の実施機関としての取り組みの承認の件
介護保険サービス第 3 者評価の事業を推進したいとの提案が会員より行われた。理事長豊田謙二から今後検討を行い可能ならば平成 16 年度実施で推進したいがこれらの課題と事業実施は今後理事会に一任をお願いしたい旨の提案があり、全会一致で理事会に一任することが承認された。

～ 認証申請手続き中の主な定款変更の抜粋～

(事業) NPO福祉用具ネットの活動の内容となります。

第 5 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の特定非営利活動に係る事業を行う。

福祉のまちづくりに関する事業

福祉用具及び住環境に関する相談事業

福祉用具の活用及び住環境の整備に関する啓発・研修事業

福祉用具の活用、供給及び開発並びに住環境の整備に関する調査研究事業

介護サ - ビス計画の作成を支援する事業

介護の質を向上させるための調査・研修・提案事業 (新たに追加申請の予定)

安全な生活に向けたバリアフリ - の調査と推進事業

報誌及び出版物の発行事業



通常総会のようなす

事務局よりの連絡事項

会費の納入は原則として郵便振込みでお願いします。振込みの控えが領収書となります。特別にご希望がない限り事務局からは領収書の発行はいたしませんのでご希望の場合はお申し出ください。

高齢者に合った改修を

NPO福祉用具ネット 活動に成果



活発な意見が交わされた研究会

介護の現場と業者、連携必要

介護が必要な人たちのための住宅改修や福祉用具について研究を重ねている独立法人の福祉用具研究会(代表・豊田隆二教授)の活動が、それぞれの体の状態に合った改修に結びつく成果を上げている。

同研究会は一九九八年に立ちあがり、施工業者に任せ、活動の中から、せ、いた状況があった。だが、非営利組織「NPO福祉用具ネット」もできた。月一回の勉強会を開き、大学の研究者やケアマネジャー、医療、建築関係者らが集い、より良い介護の実現のために、互いに情報交換をした。専門的なアドバイスをし、具体的な事例を基に検討が重ねられる。

浴室の改修の場合では、浴室にマットを敷いて廊下との段差を解消することが提案されるなど、勉強会や研究会の成果を、積極的に介護現場に紹介している。

二〇〇一年に同研究会が行った田川市郡内の住宅改修の実態調査では、改修の約八割で介護支援専門員が

同研究会は、施工業者に任せ、活動の中から、せ、いた状況があった。だが、非営利組織「NPO福祉用具ネット」もできた。月一回の勉強会を開き、大学の研究者やケアマネジャー、医療、建築関係者らが集い、より良い介護の実現のために、互いに情報交換をした。専門的なアドバイスをし、具体的な事例を基に検討が重ねられる。

浴室の改修の場合では、浴室にマットを敷いて廊下との段差を解消することが提案されるなど、勉強会や研究会の成果を、積極的に介護現場に紹介している。

二〇〇一年に同研究会が行った田川市郡内の住宅改修の実態調査では、改修の約八割で介護支援専門員が

NPO福祉用具ネット 構築・佐賀県大助教授が、は、二十一日午後一時半が、聴者・障害者のための住宅、市民の参加も募り、同改修について講演する。参立大で研究会を開く。松尾 加賀は三千円。

情報誌 広告募集!

* 情報誌の広告掲載募集中

年4回(1月・4月・7月・11月)発行

500部 印刷

一マス(16センチ×8センチ程度)5,000円

お問い合わせは事務局まで 0947-42-2286

事務局 より

早めの入会がお得！

会員になると研修会の受講料が格安となります。また人数制限がある場合は会員様優先となり、介護サービス提供の資質向上研修の場としても活用できます。

会員の更新手続きのご案内と新年度の新規会員を募集しています！

* 会員の更新手続きをまだされていない方は是非入会の継続手続きをして下さいますようお願いいたします。

個人年会費 4,000円

団体年会費 30,000円

賛助会員は1口 3,000円

* 新年度の始まりです。NPO 福祉用具ネットの新会員を募集中です。

個人入会金 1,000円 年会費 4,000 合計 5,000円

団体入会金 2,000円 年会費 30,000 合計 32,000円

賛助会員 1口 3,000円

* 福祉用具・住宅改修の電話相談は無料です。是非ご利用ください。

電話 0947-42-2286 (月曜日～金曜日 午後1時から4時まで)

これからの事業予定

8月 2日 (土曜日) 介護者研修会 「脳血管障害特集」

時間 13時から17時30分まで

講師 別府リハビリテーションセンター 作業療法士

山形 茂生 先生

申込み締切り 7月29日

申し込み方法 所定の申込み用紙による事前申込みが必要です。

* 申込み用紙はホームページでも入手できますし、

または事務局にお問い合わせください。

10月25日(土)から 「福祉用具選定セミナー」(中級4日間コース)開催予定

* 今回は痴呆関連を追加しました。

11月29・30日(土・日) 「福祉用具フォーラム」開催予定

福祉機器を実際に見て、触って、試してみよう！

10月15日から17日まで 東京国際福祉機器展にて開発商品を出展予定

7月から 香春町よりの委託事業として「福祉のまちづくり整備本計画」策定事業のためのバリアフリー調査を開始予定。